

🚚 おうちCO-OPの取材に行きました！

配達トラックに乗せてもらいました！



佐江戸にある横浜北部宅配(たくはい)センターで、運転手、戸塚さんの配達トラックに記者が同乗して密着(みっちゃん)取材させてもらいました！おうちCO-OPは「お買物メモ」というカタログから欲しい商品を選んで注文すると週に1回自宅まで届けてもらえるという宅配サービスです。

9時15分に出勤。初めに朝の朝礼、ラジオ体操、運転のときの時速の注意、ミーティングなどしっかりと仕事の内容の確認をします。その後お互(たが)いの車のチェックをしていよいよ出発です。

おうちCO-OPでは運転するときに細かいきまりがあります。◆時速は基本45km程度◆バックのとき、周りの音が聞こえるように窓(まど)を開ける◆出発するときは、車を一周して安全確認するなど、運転中も曲がるたびに「右よし！歩行者よし！」などと声で確認して仕事に対するていねいさが感じられました。戸塚さんは「多くの人にコープの質の高いサービスを利用してほしいので、自分の車がひとつのお店だと思い、自分はその店長だと思って働いている」とおっしゃっていました。センター長の谷本さんは「コープは、地域(ちいき)に貢献(こうけん)することが大切。地域のももめているもの(声)をいかに届けられるか考え、これからも仕事をしていきたい」と話してくださいました。

森の里要冷蔵センターに行きました！

厚木にある、おうちCO-OPの森の里要冷蔵センターに取材に行きました。最初に「コープ商品検査センター」の見学をしました。このセンターで

は、安全な食品を届けられるように品質管理をするため、食品の保存方法などの実験もしています。また、バイ菌や食中毒の菌(きん)などがついていないか、農薬が残っていないか、などのたくさんの検査を行っています。



見学したあと、手洗いの体験をしました。ていねいに洗ったのですが、特殊(とくしゅ)なライトにあてると洗い残した部分が白くつりました。そのあと音楽に合わせて説明をききながら手を洗う方法で洗い直しました。音楽に合わせて洗うので楽しかったのですが、毎日行うのは大変だと思います。CO-OPで働く職員さんにもここに研修に来ますが、みなさんほ

ぼ洗い残しはないそうです。すごいですね。次に「森の里要冷蔵センター」を見学しました。ここは、常温の部屋や冷蔵庫、冷凍庫のような部屋が多く、マイナス45度の部屋もありました。CO-OPの宅配では、1人1人の注文が全部違うので、間違いがないよう「デジタルピッキング」というしくみで、コンピューター管理しています。シッパーと呼ばれる白いケースにバーコードのついたシールがはられ、ベルトコンベアで商品の前を通ると、ランプが点滅(てんめつ)し、それに合わせて、担当の人が順番に商品をつめます。商品を入れるとランプが消えるしくみで入れ間違いがありません。

おうちCO-OPの取材に行って説明や、体験をして食品の検査や、配達(たいはつ)のしくみなどいろいろなことがわかり、とても勉強になりました。(2011.11取材)



東京都市大横浜祭に行きました！



6月5日、中川の東京都市大学にて、横浜祭が開催(かいさい)されました。学園祭のテーマは、「一期一会(いちごいちえ)」。横浜祭を作り上げる上で人と人との出会いを大切にしていきたいという意味が込められているそうです。学園祭では、環境に対する取り組みを実施(じっし)しており、身近なところエコをするという考え方を伝えて

いました。

二号館一階で展示を行っていた『中村研究室』では、スマートフォンにARというシステムを融(ゆう)合させたものを使って妖怪(ようかい)探しゲームをしていました。体験してみると、普通の風景に見事にキャラクターが溶け込んでいて、とても驚きました。

そのほかにもフリーマーケットや模擬(もぎ)店(たこ焼き・焼きそば等の)メジャーな品から、タコスや小籠包(しょうろんぼう)のような珍しいものまでいろいろ売っていました。小籠包はおいしかったです。その他クイズ大会などの様々なイベントが開かれていました。(2011.6取材)

タウンニュース横浜北支社取材

タウンニュース横浜北支社を取材しました。タウンニュースとは 行政区ごとに発行されている、地域特化型フリーペーパーです。1980年に秦野市(はだのし)にて、社員5人ではじまったタウンニュースは、現在では社員数250人、発行部数はフリーペーパーの中で4位の261万部です。

取材対象は、地域の主に公共機関(区役所、消防局、警察署など)、ボランティア、学校、商店街、お店などです。

今後は、発行地域を東京など都会で



ジュニア編集局が1ヶ月パーティー

パーティー

はなく、都下と呼ばれるちいさな町に広げたり、発行回数やページ数を増やしたいと思っています。またウェブサイトの充実も考えています。

記事を書くには、5W1Hを意識し、まず一番知ってほしいこと、次に詳しく掘り下げた内容を書いていくとわかりやすいとのことでした。記者になるためには、人と話すのが好きだったり、好奇心、興味をもつこと、コミュニケーション力が必要だそうです。

記者さんたちは、記事を書いたお店が人気店になったりするとやりがいを感じるそうです。身近な地域を愛しているから、地域に愛されている新聞が生まれていくんだろうと思いました。

私たちジュニア記者も、月に1回タウンニュースに記事を書かせてもらっています。ぜひジュニア記者の記事も読んでみてください。(2011.6取材)

新聞販売店を取材しました！

都筑区のセンター北から徒歩15分の所にある新聞販売店、ニュータウン北サービスセンター「寺越新聞店」に取材に行きました。

ここでは、大学生から60代の方までの24人が、新聞の配達(たいはつ)の他、集金、営業の仕事をしています。鶴見の工場印刷された新聞が、朝刊は朝3時、夕刊は15時に、トラックで運ばれてきます。だから朝は2時40分には起きて動き出します。自動的に機械でチラシをひとつにまとめ、新聞に挟み込み、配達します。

配達に使う、「順路表」がおもしろいと思いました。暗号のような記号が、配達(たいはつ)の経路を表していて、「順路表」のルールを覚えれば、住所がわからなくても最初の家から、順路に従って記号を読んでいくと配達できるというすごいものです。

この仕事のやりがいについて聞くと「新聞を毎日みなさんに届ける達成感を得られること。配達していると『いつも届けてくれてありがとう』と言われることがあり、うれしいです」「雨の日の配達が大変ですが、仕事は楽しいです」と話してくださいました。見学してこれからはもっと新聞を読んでもみようと思いました。(2011.6取材)



第4期生募集 ジュニア記者になって活躍してみませんか？

ジュニア記者になれる人

★2012年4月時点で、小学4年～高校生の方

★2012年5月～13年3月まで、年間を通しての編集会議や取材に積極的に参加できる方。

会議や取材は都筑区が中心になりますが、応募は都筑区民でなくても参加できます。

★パソコンでのメールの送受信ができる人(保護(ほご)者が代行してもかまいません。携帯(けいたい)メールは不可)。

ジュニア記者になると・・・

☆2ヶ月に1回の編集会議があります。

☆平日の夕方や土日休日を使って取材活動をします。とくに夏休みに集中して取材します。

☆保険(ほけん)料を含め登録に年間500円かかります。(取材のときの交通費や飲食代は自己負担(ふたん)となります。)

☆活動は2012年5月にスタートします。締め切りは4月10日までです。年度の途中からの参加はできません。

ジュニア記者になるといろいろな体験ができます。年齢(ねんれい)も学校も違う友だちができます！ぜひ応募(おうぼ)してみてください。(応募者多数の場合、編集委員は学年ごとに分けて抽選(ちゅうせん)します。)

申し込みは minicityplus@gmail.com まで。



ジュニア編集局の会議のようす



◆最初に記者講座で勉強します！

記者になって最初にすることは、記者講座(こうざ)で記者になるための勉強です。

記者に必要な持ち物や、取材の前に調べていくこと、取材のときに気をつけること、記事の書き方などを教えてもらいます。

その他、いい写真ってどんな写真なのか？いい記事ってどんな記事なのかを一緒に考える講座です。



◆企画部、社会部、文化部があります！

つづきジュニア編集局には、企画部、社会部、文化部があり、それぞれの記者の取材目的や興味(きょうみ)ごとに分かれて取材活動を行っています。それぞれの部で、どんなことを取材したいかについて話し合います。たくさん出た意見の中から、大人スタッフと相談して、取材に行けそうなところを選び、取材に行きます。



◆取材に行って記事をまとめます！

編集会議の中で、取材に行きたいところを出し合い、取材先を決めます。基本的には取材先には大人スタッフが調整を行い、同行します。数名で取材にいったら、記事を書く人、写真担当などを決め、記事を完成させ、ブログにアップします。今回のジュニアタイムズはそんな1年間の活動の集大成です。



ジュニア放送局にも挑戦しました！

新聞紙面から飛び出し、放送局へ



「仲町台さんぽ」(右2人)のみなさんとジュニア記者

つづきジュニア放送局をセンター北のショッピングタウンあいたい3Fで行い、その様子をユーストリーム放送しました。放送のようすは編集局のブログでも紹介しています。ぜひご覧(らん)ください。

都筑区を中心にジュニア記者が取材した「こどもニュース」、小学生2人で取材活動と冊子を発行している「仲町台さんぽ」の皆さんを迎えての「こどもゲストコーナー」や都筑区クイズバトルなどを行いました。

都筑区クイズバトルでは、○×方式で、「都筑区の真ん中を流れる川の名前は早瀬(はやぶち)川である」(答え○)、「崎陽軒(きやうけん)のシウマイ弁当は都筑区で作られている」(答え×)シウマイは都筑区で作られているが、弁当は都筑区の工場では作られていない)などが出され、東京都市大の学生さんが優勝しました！

広告 週に1回玄関先までお届け!! COOP

豊富な品ぞろえ 1,800品

留守でも安心! ドライアイス・保冷剤入り

Web注文が便利! クリックするだけで注文完了!

今なら 0円 キャンペーン 実施中!!

おうちCO-OP

9時～20時(月～金) 9時～17時(土)

0120-123-581

おうちCOOPで検索

広告 下記の読売センターはつづきジュニアタイムズを応援しています

YCB 網島 YCB 日吉 YCB 菊名 YCB 大倉山東部

YCB 南日吉 YCB 高田 YCB 新横浜 YCB 横浜つづき

YCB 網島上町 YCB 新横浜西部 YCB 大倉山西部

YCB 港北 YCB 港北ニュータウン第一 YCB 港北ニュータウン北

読売DoMo新聞 毎週木曜日発行 月ぎめ500円

お問合せ・お申込みは、横浜北部読売会まで ☎045(201)9594